

いの
祈り

ねが
願いごと

な
ねが
何か願いごとがあるときどうするか、
かんが
考えたこと
をつぎの空白くうはくに書いてください。



いでし
いの
おし
イエスさまは弟子に祈りを教える

わたし
私たちがいつも祈いのっている「主しゅの祈いのり」は、イエ
スさまが弟子でしたちに教おしえた祈いのりとして伝つたえられてい
ます。

ちち
かみ
「父ちちよ」。神かみさまをおそれおおいものとして遠とほざけ
るのでなく、身み近ぢかにいていつも私わたしたちを力ちからづけてく
れる方かたとして呼よびかけます。

な
わたし
「みながあがめられますように」。私わたしたちをささえ
ている方かたがいつもいて下くださることを、みんなが知しるこ
とができますように。

くに
びようどう
「み国くにが来きますように」。すべての人が平等びようどうで、
ひとりひとりが大切たいせつにされる社会しゃかいが来きますように。

「かてを毎日与えて下さい」。現実の問題から目をそらすのでなく、今日一日を充実して生きることができますように。

「罪をゆるして下さい」。私たちがお互いの足りない面、弱さを認めあい、助けあって生活していくことができますように。

「誘惑にあわせないで下さい」。私たちのおかれている現状に失望し、あきらめてしまわないで、いつも希望を持ち続けることができますように。

祈りは何かを願うことと考えられがちです。この世でかなえられないことを祈ることによって、誰かが

何とかしてくれると期待してしまふのです。しかし、祈りは願うことでなく、まず聞く事から始まります。何が大事な事なのかを知って、そのためにどうすればよいか決める事でもあります。求めることは誰かにお願いするだけでなく、自分で探し、困難を切り開くこともふくんでいます。

